

第6回 インターナショナルウィーク テーマ《ASEAN》

国際機関資料室資料展示

巨大災害とレジリエンス

— インドネシア、フィリピン、

そして日本の経験から —

© Photo : NASA / Karen Nyberg

21世紀、東アジアは甚大な被害を伴う巨大災害に見舞われてきました。2004年のインド洋大津波、2011年の東日本大震災、2013年、フィリピンを襲った巨大台風「ハイエン」——災害の記憶は、そこから立ち上がる復興・防災・援助の経験へと繋がります。国際機関資料室では、インドネシア、フィリピン、日本が経験した大災害と復興の記録を特集します。キーワードは、被害を最小化し、迅速に回復するしなやかな強さ《レジリエンス》。世界銀行、国連食糧計画、ユニセフ、国連国際防災戦略事務局などさまざまな機関の資料を展示します。

開催場所：中央図書館 2F 国際機関資料室

開催期間：2014年12月8日（月）～17日（水）

開催時間：10:00～17:00（土曜日は12:00まで）